

2013年7月16日 第80号

● 市報あいら[アイラビュー]

# AIR A view 7.16

2013



今月のクローズアップ

消防力強化へ向け、9月から庁舎建替え  
～消防本部、仮庁舎へ移転～

# AIRView 7<sup>.16</sup> 2013



表紙 「市中央消防署隊員」  
撮影時にも隊員のみなさんは潜水訓練に出かけ、夏の水難事故へ備えていました。隊員が着用する消防服は、住民のみなさんに「消防」だとわかりやすく、また、警察や自衛隊などと識別する目的などから、総務省消防庁の消防吏員服制基準に基づき、全国的に統一化されています。本号では、ご紹介できませんでしたが、昭和63年、同基準で新たに定められた救急隊員用の服(灰色の制服)は、ミヤケイッセイがデザインしています。

平成25年7月16日発行 7月号/第80号

発行 始良市役所

編集 秘書広報課広報広聴係

〒899-5492 鹿児島県始良市宮島町25番地

TEL 0995 (66) 3111

FAX 0995 (65) 7112

市ホームページ

<http://www.city.aira.lg.jp/>

市携帯用ホームページ

<http://www.city.aira.lg.jp/mobile>

市スマホ用ホームページ

<http://www.city.aira.lg.jp/iphone>



- 02 お知らせ「始良市職員募集」
- 03 市長エッセイ「六月灯 ～遠い記憶～」
- 04 クローズアップ「消防力強化へ向け、消防庁舎建て替え」
- 08 まちのわだい「あいらフラッシュ」
- 10 ちょこっとチャレンジ「市指定文化財186件に、3件追加」
- 11 環境&錦江湾生態系情報「アイラ エコアクション」
- 12 図書館だより「ふらっと、まちかど図書館」
- 13 健康生活「熱中症予防していますか？」
- 14 男女共同参画の視点、消防本部だより
- 15 介護保険「ボランティアポイント制度」登録者募集
- 16 「松原なぎさ小学校」校章・校旗のデザイン募集
- 17 お知らせ、今月の休日在宅医
- 22 読者の声&プレゼント
- 24 島津義弘公の足跡をたどる #02
- 25 今月の始良人 - 西聖夜 さん -

### 市の人口 (H25.7.1 現在)

人口	75,872 人 (-15)
・男	35,458 人 (-18)
・女	40,414 人 (+3)
世帯	34,401 世帯 (+10)

## 市長エッセイ

### ろっかっどー 「六月灯 ～遠い記憶～」

私の幼い頃は、まだ各家庭にテレビは普及しておらず、夕食後には、涼を求めて商店街を散策する人々が多く見られたものです。六月灯の頃となると、丹精込めて育てた「おもと」「蘭や」「生け花」を裸電球の照明のもと、長台に展示する大人たちの姿を多く目にした記憶があります。子ども心に華やかさを感じたものです。

六月灯(ろっかっどー)の由来は、島津光久公が上山寺新照院の観音堂を造立して参詣した折、たくさんの灯籠をつげさせたので、家臣や領民たちが、藩主に習って各地の神社や観音堂に灯籠を奉納したのが始まりと言われています。七月に行われるのに「六月灯」なのは、旧暦での呼称なのです。

今でも、市内の各地で六月灯は継承されていますが、いつの時代も、幼い子供たちが浴衣掛けで、小さい手を親にひかれながら、淡い灯籠の灯りに導かれて参拝する姿は、実に愛らしく、郷愁を感じる光景です。日本人(鹿児島人)としての心を強く感じます。そういう私も幼い頃、強い硫黄の匂いのランプに照らされて、必死に金魚すくいや、ボンボン釣りに興じたものです。その当時(昭和三十年代後半)は、皆、決して裕福ではなかったですが、隣近所の付き合いも深く、心豊かで、何か躍動感ある時代だったように思います。

今年も、六月灯の季節がやってきました。浴衣に団扇・下駄の音・それぞれの地域において、新たな想い出が生まれることでしょう。 笹山 義弘

# 始良市職員募集

平成26年度採用

## このまちは、未知数。

〔採用職種・採用予定人員〕

- 一般事務A 5人程度  
(昭和60年4月2日以降に生まれた人)
- 一般事務B(身体障害者手帳保有者) 若干名  
(昭和58年4月2日以降に生まれた人)
- 専門職  
土木技師、建築技師、保健師、畜産技師、学芸員(文化財担当) 各若干名  
(昭和58年4月2日以降に生まれた人)
- 消防職 若干名  
(昭和63年4月2日以降に生まれた人)

〔試験期日〕

9月22日(日)午前9時から(第一次試験)

〔試験会場〕

始良市加治木福祉センター(始良市加治木町本町393番地)ほか

〔受付期間〕

7月16日(火)～8月9日(金)(当日消印有効)

●受験資格など詳しくは直接お問い合わせいただくか、WEBでご覧ください。



◎申込・問合せ先

〒899-5492 始良市宮島町25番地  
始良市役所総務課人事係 TEL66-3111(内線211)

※消防職のみ、次の申込・問合せ先  
〒899-5241始良市加治木町木田2040番地  
始良市消防本部総務課 TEL63-3287

※試験案内、受験申込書、履歴書・身上書などの用紙は各申込先に準備してあります。ホームページからダウンロードもできます。「始良市職員採用試験」で検索してください。





①新庁舎建設に向け、9月から解体工事がはじまる現消防庁舎。大型化する消防車両には対応しておらず、将来的な導入が検討されているはしご車のような背の高い車両は格納できない。  
②鉄パイプで組み立てられた中央消防署の簡易式訓練塔。雨風や日々の訓練でサビなどの傷みが酷い。

昭和47年に建設された消防庁舎（加治木町木田）の建て替え工事が9月から本格的にはじまります。

築40年が経過し、老朽化の進行や耐震性の不備、また、消防車両の大型化により車庫スペースが手狭となるなどの課題が発生しています。

これらの課題を解決することと、消防、防災、救急の活動拠点として、市民の人命や財産を守る消防力を強化するため建て替えられることとなります。



# 消防力強化へ向け、9月から庁舎建替え ～消防本部、仮庁舎へ移転～

## 新庁舎、 現在地に建て替え

老朽化した市の消防庁舎を、現在の敷地を拡張して建て替えます。昨年度、隣接する敷地を購入し、今年9月から着工、平成27年度から新庁舎での業務開始を予定しています。現在の庁舎は昭和47年に建設され、築40年を経過していることから、防災拠点として十分な機能を備えた施設に整備します。

## 9月から 平成27年3月まで仮庁舎

建て替える庁舎は、消防本部と中央消防署の機能を併せ持つ施設であるため、取り壊しから完成するまでの約1年7か月間、この2つの機能がそれぞれ仮庁舎へ移転することになります。

## 「消防本部」は、 あいらクリーンセンターへ

市の消防組織を束ね、関連事務を行う消防本部は、あいらクリーンセン

ターの2階（加治木町木田／P7参照）に移転します。

119番で通報した時、みなさんの電話を受ける施設「通信指令室」も同センターに移ります。同センターへ移転する業務は、次のとおりです。

### 消防総務課

- ・ 庶務係（職員の勤務状況、服務、研修、教養、衛生管理など）
- ・ 管理係（消防手数料の収納、消防機械器具の維持管理、消防自動車の整備修理など）

### 警防課

- ・ 警防係（訓練の計画、火災や災害損害調査、証明書発行、災害の警戒、防ぎよや救護など）
- ・ 救急救助係（統計調査報告、救急救助、潜水、応急手当の普及啓発活動、医師会や医療機関との連絡調整、メディカルコントロール協議会など）
- ・ 消防団係（消防団の組織、任免、表彰、会議など）
- ・ 第一／第二通信指令係（災害や救急救助業務の受報と指令、消防無線、気象情報、警報など）

**中央消防署は、  
9月から平成27年3月まで  
敷地内にある空き事務所を  
仮庁舎とします。**



中央消防署の  
ミオノです、マツモトです、イワキです。

場所は今と  
ほとんど  
かわりません。



敷地内の北、南九州コカコーラボトリング(株)側にある空き事務所が中央消防署の仮庁舎となる。

**「中央消防署」は、  
現庁舎敷地内に仮庁舎設置**

消防本部と併設されている中央消防署は、現庁舎の敷地内北側にある空き事務所(写真左)へ移ります。8月末までに仮庁舎として改修されます。

**予防課**

- ・ 予防係(防火管理者の育成と指導、火災予防査察、建築同意、消防用設備の指導と検査など)
- ・ 危険物係(危険物施設の許認可、検査、指導、自主防火組織の育成指導と連絡調整、火災類取締法に基づく火災類(煙火)の消費許可など)

**新庁舎の規模**

新庁舎は、現庁舎の2階建てから3階建てとなり、約2.8倍(延床面積)の広さになります。敷地面積は、北側の隣接地(約707㎡)を購入し、3924㎡に拡大。また、さまざまな建物の構造や条件のもと、火災や救助現場を想定した訓練ができる訓練塔も建設します。事業年度は平成25～27年度の3か年となります。

	延床面積
現庁舎	841.73㎡
新庁舎	2,380.0㎡
新訓練塔	908.0㎡

**新しい消防庁舎の特色**

新庁舎には次のような特徴が備わっている予定です。

**災害時の避難場所**

災害用品の備蓄施設やボランティアなどの活動拠点として災害が発生した際、一時避難場所となる機能も兼ね備えています。

**訓練施設**

自然災害や交通事故のほか、テロなどの多発負傷者に対応した訓練、海難事故に対応した潜水訓練を庁舎内でも可能にする防火水槽兼潜水施設、救助活動などの基礎訓練ができるボルダリングゲウオール(ロープを使わない岩登り)など、新しく建設される訓練塔に完備されます。



潜水訓練は、現在、加治木港や隣接市のプールなどで行われているため、常時訓練できる庁舎内施設が求められている。

**市民も見学や学習ができる施設**

訓練塔にはそのほか、出火から火災に至る経過の観察や消火後の火災原因調査を研修する燃焼実験室、煙が充満したときに迷路状の室内から正しく避難する方法を体験できる煙体験室など、市民の防災・防火に対する

啓発や普及に利用できる施設が加わります。

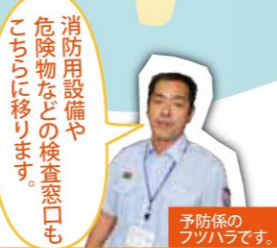
**周辺他市の消防庁舎**

近隣自治体にある消防庁舎の建築時期をみると、霧島市消防本部は平成11年、鹿児島市消防局は平成12年に、昨今の防災事情に対応した庁舎を建設しています。また、平成26年を完成予定として、薩摩川内市消防局も昭和53年に建設された庁舎の建て替えを進めています。

新庁舎のイメージ図は現在設計の段階ですので、出来上がり次第お知らせします。消防の最大の使命は、市民のみなさんの生命、身体、財産を災害から守ること。新庁舎の優れた機能をも十分に活用し、隊員一同、これまで以上に研さん、練磨を重ね、万全の体制づくりに取り組みます。

◎新消防庁舎に関する問合せ  
市消防本部消防総務課  
Tel. 63-3287

**消防本部は、  
9月から平成27年3月まで  
あいらクリーンセンターへ移転。**



消防部の  
ツツハラです。



消防用設備や  
危険物などの検査窓口も  
こちらに移ります。

119コール、ドクターヘリの  
要請もここで受けます!



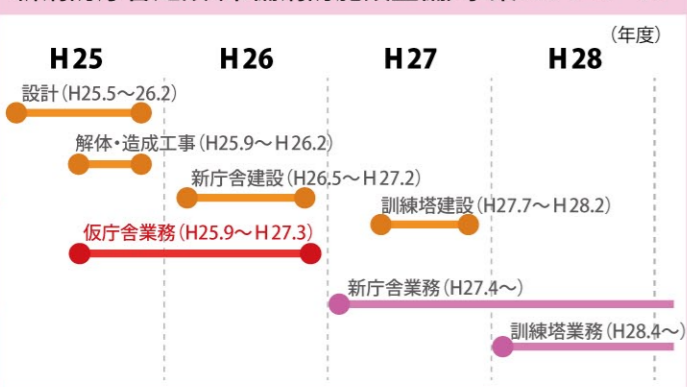
通信指令係の  
ナカンマです。



本部は場所が変わりますが、  
新庁舎ができるまで、  
しばらくの間  
ご協力お願いします。

消防長の  
クロキです。

**新消防庁舎建設(常備消防施設整備)事業スケジュール**

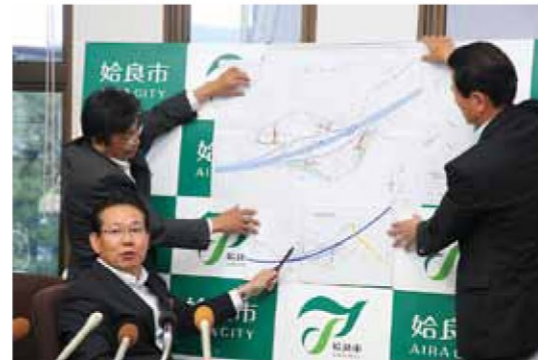


## スマートIC(インターチェンジ)、国から連結許可。県内初の設置

九州縦貫自動車道・桜島サービスエリアに整備を予定しているスマートICと市道との連結許可が国土交通省からありました。

桜島サービスエリアは鹿児島方面へ向かう最後のサービスエリアでもあり、また始良ICと加治木ICの中間地域に位置することから、磯方面の緊急ルートとしても活用することができるほか、市の発展や交流人口の増加などが期待されています。今回の許可を受けたことで用地交渉をはじめ整備事業が本格的に着手されることになります。

整備予定のスマートICは自動料金収受システム(ETC)専用で、上り下りそれぞれに出入口が設置される計画。平成29年度までの完成を目指しています。



今回の許可について報道機関に説明する世山市長

## セブン-イレブン向け食品加工工場が完成。県内各店舗の配送拠点



ヤマエ久野(福岡市)と(株)デリカフレンズ(福岡県筑後市)が県内のセブン-イレブン各店舗向けの弁当やサンドイッチなどを製造・配送する拠点施設を加治木町木田須崎地区に建設しました。

6月21日、施設の落成式が行われ、セブン-イレブン・ジャパンの役員をはじめ、関係者約120名が完成を祝いました。今回の工場稼働に伴い、地元を中心に約600人が新規採用者として雇用されました。

## 市のご当地グルメ「アゴ肉」。記念日を設けてPR、ふるまいに行列

「アゴ肉」の語呂合わせで設定した5月29日、市立図書館前と加治木駅前アゴ肉ステーキのふるまいが行われました。

このふるまいは、飲食店業を中心にご当地グルメを開発し、地域おこしを目的に結成された「あいらん家うまいもんプロジェクト」が企画。当日は、プロジェクトのメンバーが豪快に鉄板で焼き、親子連れや乗客などが焼きたてのアゴ肉を堪能しました。

準備した2か所分のアゴ肉計20kg(約600食分)は1時間でなくなる人気。プロジェクトの須内康文会長は「来年以降も5月29日をアゴ肉の日としてさらに定着させたい」と話していました。



5月29日、5時29分からスタートしたふるまいの様子。香ばしい匂いに釣られ、行列ができた



## 凱旋コンサート、感性豊かな歌声披露 始良ふるさと大使 西田 あいさん(蒲生出身)

6月22日、蒲生出身の歌謡歌手・西田あいさん(日本クラウン)のコンサートが加音ホールで開催され、熱烈なファンが千葉県から駆け付けるなど約850人がホールを埋め尽くしました。当日は、デビュー曲「ゆれて遠花火」や「ときめきカフェテラス」などを熱唱。親しみある鹿児島弁トークや昭和のヒットナンバーで会場を沸かし、満員となった観客席からは西田さんの歌声に合わせて口ずさむ声や温かい拍手が送られました。

6月16日、国の無形民俗文化財「くも合戦大会」が加治木福祉センターで開催されました。

大会は、容姿を競う「優良ぐもの部」、強さを競う「合戦の部」、合戦の部で3勝したクモのなかで王者を決める「王将戦の部」で構成され、今年の出場数は147名367匹。コガネグモの真剣勝負に、観客の熱い視線が集まりました。

今年初出場の馬場咲穂さんと今村千愛さん(写真/ともに加治木小5年)も自分たちでクモを採取し挑戦。「くも同士の戦いはドキドキする。糸を切られて負けてしまったけど、また来年も出場してみたい」と合戦を楽しんだ様子でした。

## 熱戦、加治木町くも合戦大会。



## 暮らしの便利帳をリニューアル。(株)サイネックスと官民協働制作



改訂される旧便利帳

現在、平成22年に作成された「暮らしの便利帳(始良西部合併協議会発行)」の内容が古くなったため、誌面のリニューアルを進めています。今回改訂される「暮らしの便利帳」は株式会社サイネックス(大阪市)と官民協働で発行します。

市役所の各種手続きや公共施設案内などの行政情報に加え、サイネックスが企画・編集した地域情報や企業広告などを盛り込み、より一層便利な誌面と地域経済に寄与する冊子を目指します。6月7日、協働事業の協定調印式が行われ、来年1月までの市内全戸配布へ向け、制作業務がスタートしました。

## 教育委員会委員に川畑逸郎さん

6月議会の同意を経て、新しい教育委員に元始良小学校校長の川畑逸郎さん(平松在住)が就任し、6月14日、笹山市長から辞令が手渡されました。任期は4年。川畑委員は長崎大学教育学部卒業後、錦江小をはじめ、県立南薩少年自然の家次長や鹿屋市社会教育課長を歴任し、始良小学校を最後に定年退職。教育行政や社会教育の経験が豊富であることなどから任命されました。



## 県内限定販売「くも合戦」の焼酎。さつま司酒造が製造



さつま司酒造(加治木町諏訪町)がくも合戦をラベルに採用した「本格芋焼酎 くも合戦」を製造しました。ラベルは桜島を背景に合戦の様子が描かれたデザインとなっています。

同酒造の三明総社長(写真左)は、くも合戦大会を昨年初めて観戦。大会で感じた熱い思いが今回の焼酎製造のきっかけとなったそうです。「くも合戦」の販売はアサヒビールが担当し、現在、県内の酒類を扱う小売店で販売がはじまり、市の新たなPR素材として期待されます。

環境リサイクルや錦江湾の生態系に関する情報コーナーです。

今回は、1年間で1000tのごみを減量するために、「市民の皆さん一人一人が1日に、37gのごみを減量しましょう」というお話をしました。

そして、手取り早くて簡単な方法の一つが「水分を減らす」ことであることも説明しました。

そこで、今回は「あるもの」をクシャツと潰すだけで生ごみに含まれる水分を減らす方法をご紹介します。

その「あるもの」とは卵の殻です。毎日のお料理に欠かさず登場する卵、皆さんはその殻をどのように処分していますか。

パカッと割ってポイツと三角コーナーに投げ入れていませんか。そこで良く目にするのがこんな光景です。

「クシャツ!」で  
1000tの  
ごみ減量。



何気に投げ入れた殻が器状になり、そこに水が…。卵1個の容量は約50mlなので、写真の状況だと約40gの水が溜まっていることに

Let's 環境旋風  
みんなでごみ減量化!

水切りの達人を目指して、卵はパカッと割って、殻をクシャツと潰す。この感触がクセになるかも…。

また、三角コーナーには麦茶用ティーパークなどの水分を含みやすいものは入れないようにし、よく絞ってからごみ袋に入れましょう。

◎問合せ先 生活環境係  
Tel 66-3-111 (内線144)

ちょこっと  
チャレンジ!

県内最多の  
指定文化財

186件

新たに市指定文化財、3件が追加。



- ・掛橋坂
- ・城野神社仕明地記念碑
- ・帖佐十九日馬踊り

始良市には、歴史豊かな風土を物語る文化財・史跡が市内各所に数多く残り、183件の国・県・市指定文化財は県内市町村で最多を誇ります。指定文化財とは、数ある文化財の中で年代や由来、全体像などが分かり、特に重要なものを指します。

教育委員会では未指定の文化財の調査・検討を実施し、6月12日付けで3件の市指定文化財を指定しました。これで始良市の指定文化財は186件となります。

掛橋坂



掛橋坂は、蒲生町北と西浦を結ぶ峠に見つかった石畳道。現在の県道川内・加治木線が明治時代に開通する前の旧道で、江戸時代には藪牟田・祁答院方面と蒲生を結ぶ地方街道として利用されていたと考えられます。

掛橋坂が開通した時期ははっきりしませんが、道筋には寛政8年(1796)の庚申供養碑や明和9年(1772)の馬頭観音碑があることから、遅くともこの頃までには石畳道が完成していたと考えられます。また、石畳や石段の造り方が、大口筋白銀坂・龍門司坂(国史跡)に共通していることも、この道が江戸時代に整備された街道であることを示しています。



城野神社仕明地記念碑



木津志の城野神社境内に建つ高さ194cm、奥行90・5cmの石碑で、四面に碑文が刻まれています。

碑文には、江戸時代の中ごろに行われた城野神社の社殿改修について、藩との経費補助の交渉がうまくいかなかったため、村内に仕明地(郷土が自ら開墾した田畠)を設け、その収益を経費にあてた経緯や担当者の職氏名などが克明に書かれています。

このような石碑は県内にも他に類例がなく、当時の木津志村や蒲生郷の状況を伝える貴重な史料です。



帖佐十九日馬踊り



帖佐小の裏手にある稲荷神社で行われる「十九日馬踊り」

馬踊りは、南九州だけにみられる特異な民俗芸能。旧暦1月に行われる鹿兒島神宮の初午祭では、初日の18日に加治木の馬踊りが奉納され、この鹿兒島神宮の御札を頂いた御神馬が19日に帖佐、20日に蒲生に向き、馬踊りを披露しました。

帖佐地区では、古くから「十九日馬踊り」として親しまれ、昭和55年頃までは町民総出のにぎわいでしたが、以後20年近く途絶えていました。しかし、平成12年に地域の伝統行事として復活し、それ以降毎年旧暦1月19日に一番近い日曜日に、稲荷神社で行われています。

この馬踊りでは、島津義弘の愛馬・膝跪(ひざかみ)が、馬の神様として信仰され、その姿が絵馬や御札に描かれています。

## 「ハクセンシオマネキ」

シリーズ 錦江湾に住む旬の生き物たち 3

エビ目、スナガニ科、シオマネキ属。  
オスの片方の鋏がとても大きく、繁殖期の6〜8月に、この鋏を一齐に振り上げる様子が、白い扇子を振っているように見えるため、和名の「白扇招き」がつけられた。

甲長約12mm、甲幅約20mm。鋏は白く目立つが、背中の色は灰色の無地や、薄い横縞、斑点など個体差がある。神奈川県以西〜四国、九州、朝鮮半島に分布。河口域の泥混じりのやや硬めの砂浜で、干潮時にも、乾かす水にもつかからない場所に生息。しかし、そういった場所が、都市部を中心に激減しているため、環境省のレッドデータリストでは、絶滅危惧Ⅱ類。生息域とともに生息そのものがかなり危ぶまれている種。

重富海岸では、思川河口に良好な生息場所が残っているため、夏には毎日、白扇を振り上げる様子(ウエーピング)を見ることが出来る。このウエーピングは生まれた場所の潮の状態に合わせて行われる。たとえば、重富海岸のハクセンシオマネキを朝、鮮半島に移動させると、重富海岸の干潮時間にウエーピングをするそう



ハクセンシオマネキ(オス)

だ。小さな体の中に、とてつもなく不思議で複雑なタイマーが組み込まれているのだろう。

干潟のカニたちはみんな、人が近づくとあっという間に巣穴に逃げ込んでしまっって、観察するのが難しい。そこで、重富海岸では夏休みに「毎日観察会」として、干潮時に、河口のハクセンシオマネキの観察会を行っている。

小さな彼らの、不思議な生態を「ゆつくりじっくり」観察して、身近に感じてほしい。

環境教育NPO法人くすの木自然館専務理事  
環境省中央環境審議会委員

浜本奈鼓

今月のテーマは『夏の健康管理』

## 熱中症予防していますか？

熱中症は、例年、梅雨入り前の5月頃から発生し、梅雨明けの7月下旬から8月上旬に多発する傾向があります。(平成24年5月28日～9月30日の期間に、市で熱中症により救急搬送された方は39名でした)  
熱中症にかかっても、軽症のうちであれば、水分補給や体を冷やすなど、簡単な手当で間もなく回復します。しかし、気付かずに放っておいたり、大したことはないと思ったりすると、意識障害やけいれんなど重症化して命を落とすこともありますので注意が必要です。

### 熱中症を予防するためのポイント!

#### ✓ こまめな水分補給

のどの渇きを感じる前に早めに補給しましょう。

実は、日常生活で起こる熱中症の約半数は室内で起きています

#### ✓ 服装の工夫

汗がすぐ乾きやすい素材の服を選びましょう。また、外出の際には帽子や日傘もお忘れなく。

#### ✓ 体調管理

暑さを我慢せずに、少しでも不調を感じたら休むようにして、いつも以上に十分な休息をとりましょう。また、食欲がないときでも、何か口にしましょう(食事で栄養と水分が補給されます)。

#### ✓ 室内環境の調整

エアコンや扇風機を使って空気を循環させましょう。こまめな換気やすだれの使用、打ち水なども効果的です。



注意!!

### 熱中症患者の約半数は高齢の方(65歳以上)です

熱中症の初期症状である、めまい・立ちくらみなどの症状は、夏バテ・持病などの症状と区別がつかないことがあります。高齢の方は若い世代に比べて重症化しやすいため、早めに対応することが大切です。



健康増進課 健康増進係 ▶Tel 66・3111(内線149)  
加治木市民生活課 健康増進係 ▶Tel 62・2111(内線501)  
蒲生市民生活課 健康増進係 ▶Tel 52・1211(内線255)

問合せ



中央図書館 ▶Tel 64・5600  
加治木図書館 ▶Tel 62・2605  
蒲生公民館図書室 ▶Tel 52・1771



あいらしりつとしょかん 検索  
親子映画、貸出ランキング、蔵書検索、各種サービスなど図書館情報はこちら。

### わたしの一冊 感想カードから (中島彌生子さん/西始良在住)

RECOMMEND



「考えない練習」頭で考えずに、もっと五感を使おう。すると、イライラや不安が消えていく  
小池龍之介 著 小学館  
日頃は、常に心地よく、しかも自分らしく過ごしたいと願い、それがかなわないと周囲のせいになります。しかし、結局その原因は自分自身にある、という考え、さらに環境を改善するためには、自分で工夫する。  
これは本当に「練習」が必要だと思いました。

### 気になるオススメ新着本

NEW ARRIVALS



「チャーチル 不屈のリーダーシップ」  
ポール・ジョンソン 著 日経BP社  
第2次世界大戦中、イギリスを勝利へと導いた宰相、ウィンストン・チャーチル。彼の姿を、歴史家でありジャーナリストでもある著者が、同国人の視点から描いた評伝。解説や略年表なども収録されています。



「断熱・防湿・防音が一番わかる 快適で環境にやさしい住居の実現方法」  
柿沼整三 監修・著、遠藤智行、荻田俊輔、山口 温 著 技術評論社  
断熱に関する基本的な考え方の他、防湿、防音やシックハウス症候群の問題、耳にすることが多くなったエコハウスなどについても解説されています。快適な住まい作りのヒントを知りたい方におすすめの1冊です。



「大きな音が聞こえるか」  
坂本 司 著 角川書店  
高校1年生の八田泳。サーフィンが好きな泳は、終わらない波=ブラジルのポロロッカに乗ってみたいと興味を持つ。丁度ブラジルへ転勤だという叔父に遊びにおいでと誘われ、旅費を稼ぐ為にバイトをはじめ…。「腐って」いた男子高校生の成長を描いた青春小説。



「雲のコレクション」  
古川 武彦、岩槻 秀明文・写真 洋泉社  
いつも見るあの雲はどんな名前? ときどき出会う美しい雲、奇妙な雲の正体は? 雲の基本10種と変種・副変種を徹底紹介。雲の見方や知識、探し方、撮影法などもわかりやすく解説。雲のことがわかれば、きっと空を見るのがおもしろくなります。



「災害・防災図鑑 すべての災害から命を守る」  
CeMI環境・防災研究所 監修 文溪堂  
日本の自然災害すべてが取り上げられている他、「自然のめぐみ」や「避難」についても言及されています。全ページカラーで、被害や原因、災害に対する備えについて、写真や図版を用いて分かりやすく解説されています。



「ほんをよむのにいいばしょは?」  
シュテファン・ゲンメル 文 マリー・ジョゼ・サクレ 絵 斉藤 規 訳 新日本出版社  
こねずみのニリイが森で本を見つけました。おはなが大きなニリイは、本を読んでみたいのですが、弟たちやキツツキがうるさくて読めません。あきらめかけたそのとき、いいことを思いついて…。あなたはどんな場所で本を読みたいですか?

### あなたに手渡したい本 [図書館スタッフが選ぶ印象本]

「つづきの図書館」 柏葉 幸子 著 講談社

この本は、図書館の絵本から出てきた登場人物たちが、それぞれの「気にかかる」読者のその後を、司書と共にたどっていく物語です。「その後」に出てくる人々、そして登場人物たちを手伝うことになった主人公の司書は、決してこれまで順風満帆に生きてきたわけではなく、それぞれ悩みや後悔を抱えながら生きています。しかし、そうした「人間臭さ」のようなものが、この物語に深みを与えているように思えます。時折、ユーモアを交えながら、不器用ながらも懸命に生きる人々をあたたく描いたこの物語は、私の中で、何度も読み返したくなる、印象に残る本となりました。児童書ですが、大人の方にもぜひ読んでいただきたい1冊です。

スタッフの  
かわむらさん。



# 介護保険 「ボランティアポイント制度」 登録者を募集しています。

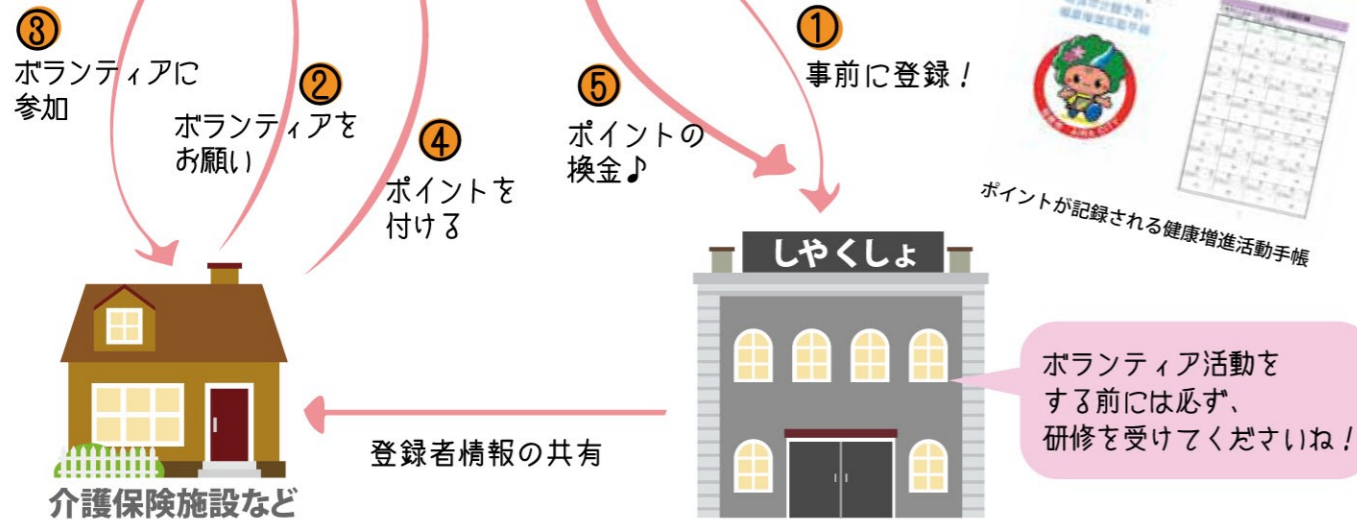
65歳以上のみなさ〜ん!



市では、65歳以上の方の積極的な社会参加と介護予防を目的とした「介護保険ボランティアポイント制度」を平成24年7月から始めています。

この制度は、事前に登録をした方が、市内の介護保険施設などでボランティア活動に参加することで、その実績に応じてポイントが得られ、貯めたポイントは換金することができる仕組みになっています。

この制度を通して、65歳以上の方が、地域や人とのつながりを深め、いつまでも住み慣れた地域で、安心して健やかに暮らしていただけるよう支援します。



ボランティア活動をする前には必ず、研修を受けてくださいね!

ボランティア活動をしたい方は次の項目に該当する必要があります。

- ① 研修受講日において65歳以上の市民の方で、介護保険料等の滞納が無い方。
- ② 介護施設等までの行き来がご自身でできる方。
- ③ 次の日時の研修をいずれか受講できる方  
9月5日(木)か、平成26年1月16日(木) 午前10時～11時30分(9時30分受付)

**研修開催場所** 市役所本庁4号館2階会議室(宮島町25番地)  
**申込方法** 窓口に備え付けてある活動登録申請書に、必要事項をご記入の上、ご提出ください。申請時に印鑑(シャチハタ不可)をご持参ください。  
**受付日時** 午前8時30分～午後5時15分(土日祝日除く)  
**窓口・問合せ先** 長寿・障害福祉課 介護保険係 Tel 66・3111(内線125)  
 加治木福祉課 長寿・障害福祉係 Tel 62・2111(内線131、132)  
 蒲生福祉課 長寿・障害福祉係 Tel 52・1211(内線273)

## 対話喫茶 ダイアログカフェ Dialogue Café [男女共同参画の視点]



7月25日から1週間は、鹿児島県男女共同参画週間です。  
27日、28日の2日間、次のような講演やワークショップが行われます。

**7/27 (土)** 午前9時45分～正午 基調講演 Start up! <定員200人>  
第2次鹿児島県男女共同参画基本計画～第2次計画のつくりと役割～  
○講師：武隈晃(鹿児島大学教育学部長)

午後1時10分～3時10分 男女共同参画 living 学講座

I 「働く」 リアルなミモザ・レポート 定員 60人 ○報告団体：ミモザの会 (県男女共同参画地域推進員)	II 「地域で生活する意味」と 地域コミュニティの在り方 定員 60人 ○報告：上村修 (NPO法人福祉相談センターにじ)
---	---

III 自分らしく生きるために… ココロとカラダの処方箋 定員 40人 ○講師：下敷領須美子 (鹿児島大学医学部保健学科准教授)	IV 人生をゆたかに彩る 恋の男女共同参画方程式 定員 40人 ○講師：谷崎和代 (鹿児島純心女子大学准教授)
--	---

午後3時30分～5時30分 living学講座 閉講式 <定員100人>  
先輩のジンセイ、聴かせてください

**7/28 (日)** 午後1時30分～4時  
絵本づくりワークショップ  
<定員30人>【小学生対象】  
○講師：たかさきめぐみ

会場はかごしま県民交流センター、参加無料。託児完備。  
すべて事前申し込みが必要です。  
●申込・問合せ先/  
県男女共同参画センター  
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50  
Tel 099-221-6603 Fax 099-221-6640  
Eメール harmony@kagoshima-pac.jp

問合せ 企画政策課 男女共同参画係 ▶Tel 66・3111(内線241)



## 水難事故を防ごう!

夏を目前に水に接する機会が多くなってきます。昨年同様、節電の件もありプールや海水浴場に出かけることも多くなるのではないのでしょうか?  
TVドラマなどで目にする「溺れた子どもを見つけた男性が、上着を脱いでさっそうと飛び込む」シーン。実際は一番やってはいけない救助法といえます。なぜかという、二重遭難や二次災害の危険が高まるからです。溺れている人はパニック状態になっているため救助者へ必死にしがみつこうとしますので、泳ぎに自信のある人でも泳いで救助するのはとても危険な行為です。

消防署では、水難救助法講習(心肺蘇生法や着衣泳法など)の講師派遣を行っています。  
詳しくは、お近くの消防署又は各分遣所へお問い合わせください。

- 中央消防署 Tel 64・3133
- 始良分遣所 Tel 64・5559
- 蒲生分遣所 Tel 52・0279

海や河川で水遊びをする場合は、次のことに注意してください。

- 泳がずに救助することができれば、それは最も良い方法です。自分のシャツやベルト、竹竿、ロープ、つり竿、何人かで手をつないで
- とにかく浮くモノを! 道具なしには飛びこまない。浮輪・ライフジャケット、クーラーボックス、ペットボトル
- 遊泳禁止の場所では絶対泳がない。遊泳禁止場所は、水深が急に深くなったり、離岸流や潮の流れが速いなど、危険な場所ですので、絶対に泳いではいけません。
- 水難事故を未然に防ぐことが一番大切。もしかしたら水難事故に遭うかもしれないという意識、子どもから目を離さない、飲酒後は水に入らない



平成25年度全国統一防火標語  
消すまでは 心の警報 ONのまま

問合せ 消防本部警防課 ▶Tel 63・3287



new school

「松原なぎさ小学校」校章・校旗のデザイン募集！



1. 募集期間 8月1日(木)～8月30日(金)

2. 賞金  
 ■最優秀賞 1点 50,000円  
 ■優秀賞 2点 5,000円

※受賞者が児童生徒の場合は、賞金分の図書カードを贈呈

3. 応募要件

- 始良市に誕生する、「松原なぎさ小学校」がイメージでき、新設校として新たな出発にふさわしい校章・校旗。
- 色は地色も含めて4色以内。白色も1色としてカウント。
- モノクロで使用することを考慮し、グラデーション(ぼかし、濃淡)で表したものは不可。
- 自作の未発表作品とします。
- 採用作品は、作品の趣旨を損なわない範囲で修正することがあります。
- 採用作品の著作権は、始良市教育委員会に帰属します。

4. 応募方法

- (1) 応募資格は問いません。応募点数は一人一点
- (2) 応募用紙又は、縦横15cmの枠を書いたA4白色用紙を縦長で使用したもの。枠外に天地(上下)を明示。
- (3) 応募用紙には  
 ①住所 ②氏名(ふりがな) ③学校名・学年(児童生徒のみ) ④連絡先電話番号  
 ⑤デザインの趣旨(100字以内)を書いてください。  
 ※全ての項目が記載されていない場合は、選考対象となりません。
- (4) 応募方法は次の2通りです。

- ①市教育委員会(始良分室、蒲生分室も可)に直接提出
- ②市教育委員会(始良分室、蒲生分室も可)に郵送  
 ・学校教育課 〒899-5294 始良市加治木町本町253 加治木総合支所 (Tel 62・2111)  
 ・始良分室 〒899-5432 始良市宮島町25 始良市役所 (Tel 66・3111)  
 ・蒲生分室 〒899-5302 始良市蒲生町上久徳2399 蒲生総合支所 (Tel 52・1211)  
 ※申込締切 8月30日(金)(当日消印有効)  
 ※電子メール・FAXの応募は不可  
 ※応募作品は返却しません。

(5) 応募用紙は、始良市教育委員会(始良分室、蒲生分室含む)、各小・中学校にあります。市ホームページからもダウンロードできます。

5. 選考方法

「始良市新設校校章及び校旗選考委員会」を開催して選考(構成委員:学校関係者、保護者代表、デザイン関係専門家など)

6. 発表

市ホームページや市報で発表。入賞者には別途連絡します。

問合せ 教育委員会学校教育課(〒899-5294 始良市加治木町本町253) Tel 62・2111(内線224)  
 メール shido@city.aira.lg.jp ホームページ http://www.city.aira.lg.jp/

市税などの納期

税目	期別	納期限
固定資産税	2期	7月31日(水)
国民健康保険税(普通徴収)	2期	
介護保険料(普通徴収)	2期	
後期高齢者医療保険料(普通徴収)	1期	

● 税務課

※口座振替手続きをしておられる場合は、7月31日が振替日になります。残高のご確認をお願いします。

※納付が遅れると、督促料・延滞金が発生する場合があります。納期限内での納付にご協力ください。

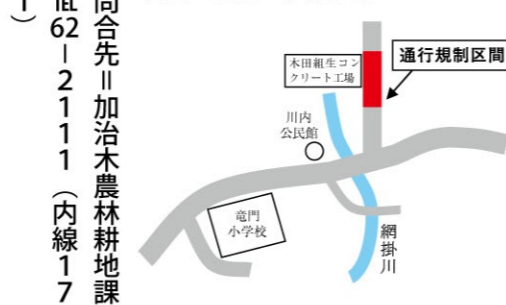
◎問合せ 管理係 Tel 66-13111 (内線159)

通行規制

● 加治木農林耕地課

◆農道 川内・市来原線  
 ■場所 加治木町小山田地内  
 ■期間 時間 7月19日(金)～9月25日(水)  
 ■内容 片側通行止(終日)  
 ※案内板、誘導員の指示に従ってください。

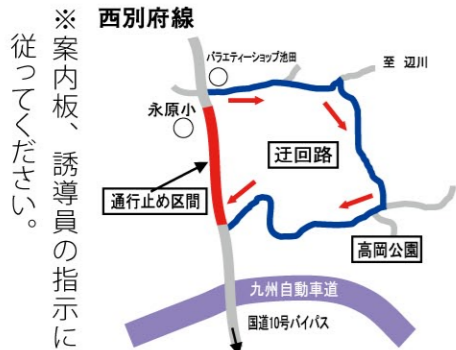
農道 川内・市来原線



通行規制

● 加治木建設課

◆西別府線  
 ■場所 加治木町西別府地内  
 ■期間・時間 7月28日(日)午前8時30分～午後5時  
 ■予備日 8月4日(日)午前8時30分～午後5時  
 ■内容 全面通行止



※案内板、誘導員の指示に従ってください。

◎問合せ 加治木建設課 Tel 62-2111 (内線160)

8月の特設人権相談

● 市民課

◆加治木地区  
 ・日時 8月2日(金) 午前10時～午後3時  
 ・場所 加治木福祉センター 第3会議室  
 ■相談内容 婚姻、離婚、借金、借地、売買、金銭貸借、土地問題、近隣とのトラブル、子どもの人権関係など  
 ■相談員 市人権擁護委員  
 ■その他 相談無料、予約不要

◎問合せ 加治木市民生活課 市民係 Tel 62-2111 (内線122)

AED講習会

● 社会福祉課

■日時 9月7日(土) 午後1時～4時  
 ■場所 加治木福祉センター  
 ■内容 AED使用法と心肺蘇生法  
 ※受講者には市消防本部から「普通救命講習修了証」を発行  
 ■募集定員 先着15名程度(中学生以上)

■応募方法 電話受付  
 ■申込期限 8月15日(木)  
 ◎申込・問合せ 市社会福祉協議会 加治木支所 Tel 62-2041

お詫び・訂正

● 秘書広報課

本誌6月17日発行78号P16掲載「あいらフラッシュ」県代表として、全国少年野球大会へ」の記事内容に誤りがありました。当初「始良市から初」と記載しておりましたが正しくは「始良地区から初」でした。お詫びして訂正いたします。


◎問合せ 広報広聴係 Tel 66-13111 (内線227)

● 農政課

本誌7月1日発行79号P10掲載「水稲管理座談会 7月23日(火)」中の表内容に誤りがありました。当初「①永原小学校公民館、竜門小学校公民館」と記載していましたが、正しくは「①永原小学校公民館、竜門小学校公民館、竜門小学校公民館」でした。お詫びして訂正いたします。


◎問合せ 農政係 Tel 52-1211 (内線221)

龍門司焼  
ろくろろで陶芸体験




7月28日(日)

漆の生き物観察




8月 3日(土)

大楠スケッチ教室




8月10日(土)

忍者体験  
「あいらびに忍者 現る！」




8月11日(日)

婚活バス  
「あいらびワゴン」



8月17日(土)



## 夏あいらびゅー号

始良市周遊観光バス

企画盛りだくさんの夏のあいらびゅー号で楽しい思い出づくり。  
乗車500円で1日楽しめる始良市内を走る観光バスは、市外のお客様だけでなく、始良市のことをもっと知りたい市民のみなさんにも人気です。  
この夏も、オススメコースをご用意。あらためて自分の街を再発見するバス旅に出掛けましょう。日程や食事代、体験料などはお問い合わせください。  
事前予約制ですので、各コース前日午後5時30分までにご予約ください。

乗車料金  
**500円**  
(小学生以上)

問合せ あいらびゅー号運行事務所(蒲生観光交流センター敷地内) Tel 55・7005

### ★ 錦江湾奥会議のまちイベント ★

錦江湾奥に位置する垂水市、鹿児島市、霧島市、本市の4市が、広域で様々な施策や事業を協働で行い、地域活性化を図ることを目的としています。その一環として各市のまちイベントをお知らせします。

**垂水市**

**たるみずふれあい  
フェスタ夏祭り**

日時/8月10日(土) 午後3時～9時 (花火は午後8時から)  
場所/旧垂水港特設会場  
内容/南九州最大の2尺玉水中花火をはじめ、ダイナミックに6,000発の花火が打ち上がる。  
◎問合せ 実行委員会(垂水市商工会内)  
Tel 0994-32-0225



**鹿児島市**

**第13回 かがしま錦江湾  
サマーナイト大花火大会**


日時/8月24日(土) 午後7時30分～8時40分  
場所/鹿児島港本港区  
内容/鹿児島の夏の風物詩。2尺玉連発や大玉連発をメインに、1万4000発の花火が夜空を彩る。  
◎問合せ サンサンコールかごしま  
Tel 099-808-3333



**霧島市**

**大隅浪漫**  
～1300年の時空を超えて～

日時/8月17日(土) 午後6時開場 午後6時30分開演  
8月18日(日) 午後1時開場 午後1時30分開演  
場所/霧島市民会館(霧島市国分中央)  
内容/市民手作りのミュージカル。タイムスリップした若者が1300年前から現代までの歴史を旅する。  
料金/大人1,000円、高校生以下500円(当日200円増)  
◎問合せ きりしま創造舞台ミュージカル公演実行委員会 逆瀬川 Tel 080-5240-6560



**加治木地区サイレン吹鳴**  
●加治木福祉課

8月は、先の大戦で亡くなられた方を悼み、平和への祈りをささげる月です。  
加治木地区では、昭和20年に旧加治木町全域が空襲を受けた8月11日(日)と、全国戦没者追悼式が行われる8月15日(木)の正午にサイレンを吹鳴します。  
当日は、地区内のそれぞれ場所で、1分間の黙とうを捧げましょう。

◎加治木福祉課社会福祉係  
Tel 62-2111 (内線137)

**船花園 七夕まつり**  
●農政課

新鮮野菜の販売のほか、蒲生郷大楠少年太鼓やふるまい餅を予定。ぜひお立ち寄りください。  
日時 8月4日(日) 午前9時～午後1時(予定)  
場所 船花園直売所広場  
内容 採れたて野菜の販売、かき氷、焼餅、焼きおにぎり、切花、パン、衣料、惣菜、ガネ天、ふくれ菓子、そばの販売(予定)  
イベント 蒲生郷大楠少年太鼓、ふるまい餅  
◎問合せ 直売所 船花園  
Tel 65-6655

**かもだ祭り**  
●加治木地域振興課

日時 7月27日(土) 午後6時～9時  
場所 加治木町かもだ想い通り \*午後4時～9時半まで車両通行止め  
内容 金魚すくい、ボンボンつり大会、金管バンド演奏、ダンス、フラダンス  
◎問合せ かもだ通り商店街 協同組合 坂元 Tel 63-4311

**加治木史談会夏季学習会**  
●社会教育課

日時 8月3日(土) 午後2時～5時  
場所 加治木福祉センター  
講師・演題 岸野純一先生 「鹿児島島の庭園」、川崎 猛  
◎問合せ 地域振興係 Tel 62-2111 (内線265)

**歴史民俗資料館の体験学習**  
●社会教育課

夏休み期間中、次の体験学習を開催します。ぜひご参加ください。

会名	日時	定員	参加料
トンボ玉に挑戦! ※大人対象	8月3日(土) 午後1時半～4時	10人	300円 カセット ボンベ持参
帖佐人形づくり ※大人対象 ※2回連続で出席できる方に限る	【型作り】 7月27日(土) 午後1時半～4時 【絵付け】 8月31日(土) 午後1時半～4時	12人	300円

先生「郷中教育と加治木の学舎教育」  
資料代 300円(非会員、会員は無料)  
◎問合せ 松田繁美 Tel 63-2588

申込方法 7月18日から歴史民俗資料館に電話でお申し込みください。  
※定員に達し次第、締め切りします(先着順)。  
◎申込・問合せ 歴史民俗資料館 Tel 65-11553

## 8月の休日在宅医等

日(曜日)	市町名	医療機関・薬局名	診療科目	電話
4日 (日)	霧島市(国分)	井料クリニック	脳神経外科	46-9300
	霧島市(隼人)	吉玉リウマチ・内科クリニック	リウマチ科内科	42-2755
	始良市(加治木)	おばた泌尿器・ひふ科	泌尿器皮膚科	62-7100
	始良市(始良)	山下わたる内科	内科	67-0101
	湧水町	林内科医院	内科小児科	75-2047
	霧島市(隼人)	椎原眼科医院	眼科	43-1050
11日 (日)	霧島市(国分)	ふたばクリニック小児科皮膚科	小児科	57-5555
	始良市(加治木)	えびす薬局	—	62-7440
	霧島市(国分)	原口内科消化器科	内科消化器科	46-2232
	霧島市(隼人)	ひなたやま整形外科	整形外科	44-8118
	始良市(加治木)	四本信一皮膚科	皮膚科	63-9912
	始良市(始良)	希望ヶ丘病院	内科	65-3207
18日 (日)	湧水町	田代医院	内科循環器科	74-2075
	始良市(始良)	青雲会病院眼科	眼科	66-3080
	始良市(始良)	あいら小児科	小児科	66-0115
	始良市(加治木)	ふれんど薬局	—	63-6161
	始良市(始良)	ピッコロ調剤薬局	—	66-9510
	始良市(始良)	ケーアイ調剤薬局始良店	—	66-3952
25日 (日)	霧島市(国分)	宮内皮ふ科クリニック	皮膚科	46-8612
	霧島市(隼人)	永田医院	内科	42-3402
	始良市(加治木)	川島クリニック	外科内科	62-7200
	始良市(蒲生)	伊地知医院	内科小児科	52-0027
	霧島市(牧園)	大庭医院	内科小児科	76-1984
	始良市(始良)	たかひろ眼科	眼科	55-6000
25日 (日)	霧島市(国分)	きたはらこどもクリニック	小児科	64-0677
	始良市(加治木)	タバタ薬局加治木店	—	63-8585
	始良市(蒲生)	蒲生薬局まちかみ支店	—	54-3000
	始良市(始良)	中ノ丸薬局	—	67-7050
	霧島市(国分)	鶴木医院	内科小児科	45-0011
	霧島市(隼人)	酒匂クリニック	整形外科	43-8660
25日 (日)	霧島市(溝辺)	とくだクリニック	内胃腸消化科	64-1717
	始良市(始良)	尾田内科胃腸科	内胃腸科	65-7511
	湧水町	吉松温泉医院	内科	75-3311
	霧島市(国分)	高倉眼科	眼科	47-7300
	始良市(加治木)	なかむら小児科	小児科	64-3711
	始良市(始良)	ピッコロ調剤薬局	—	66-9510
始良市(加治木)	クラリネット調剤薬局	—	73-7390	

※在宅医の診療時間は、午前9時から午後5時まで(眼科は、午前9時から午後1時まで)。

※都合により在宅医が変更になる場合がありますので、医療機関にご連絡の上、受診してください。

※在宅医の変更などについては、始良市役所へお問い合わせください。

問合先 始良市役所 ▶ Tel 66・3111

### 歯科救急診療(日曜、祝日)

・午前9時～午後3時

始良郡歯科医師会館口腔保健センター(霧島市溝辺町・空港近く)

Tel 58・4388

### 子どもの救急電話相談(夜間)

夜間におけるお子さんの急な発熱、おう吐、下痢、腹痛などで分からないことがある場合は、経験豊富な看護師が応急処置や医療機関の受診の必要性などのアドバイスをいたします。

### 【相談時間】

毎日・夜間 午後7時～11時  
Tel #8000(県内統一)

※ただし、ダイヤル電話、光電話及びIP電話からは  
Tel 099・254・1186

## 生活ナビ

### ネット通販でトラブル

インターネット通販の普及により個人で海外業者と取引をするケースが増えており、商品の未到着や偽物の到着等のトラブルが増えています。

消費者庁越境消費者センター(CCC)には、有名ブランドの模造品の相談が多く寄せられています。

次の、偽物を販売するサイトを見抜く4つのポイントでチェックして、購入しないよう注意してください。

- ① サイト運営業者の氏名、住所、電話番号が書かれていない【メールしか連絡方法がないサイトは危険】
- ② 機械翻訳のような不自然な日本語が使われている【たとえば「3日から5日届けます」等】
- ③ 値段が極端に安い【質に入れても6割程度。6割、7割引きは危険】
- ④ クレジットカードが使えない

### インターネット通販トラブルを未然に防ぐために大事なポイント

- ① 配送方法や配送までにかかる時間、関税がどの程度かかるかを確認しておく
- ② 輸入禁止又は制限のある物品ではないかを確認する
- ③ キャンセル、返品条件等利用規約を事前に確認する



問合先 消費生活センター ▶ Tel 66・3111 (内線157)

## 防犯ナビ

### 振り込め類似詐欺に注意!! より巧妙!より悪質! 詐欺的儲け話の最近の手法

次のような不審なハガキや電話が来たとの相談が警察に多数寄せられています。

### 事例

- 「あなたに対する訴訟が提出され受理されました。本状を以てあなたの民事訴訟起訴事実とします」と書かれた民事訴訟裁判の通達書
- 「全国紛争支援センター」をかたる紛争問題に関する確認依頼書
- 「健康食品を発送します」、「あなたは高額賞金当選の権利を獲得されました」、「社債を購入されませんか?あとから高額で買い取ります」などの電話

### 県内被害総額約8,910万円

(平成25年5月末現在)

- 振り込め詐欺  
…4件 被害額 約1,049万円
- 振り込め詐欺以外の特殊詐欺  
…13件 被害総額 約7,861万円

容易な金銭の要求など、身に覚えのない、少しでもあやしいと感じたらまず相談を。

- ◆ 始良警察署 Tel 62・0110
- ◆ 警察相談窓口 Tel #9110  
または Tel 099・254・9110

問合先 始良地区防犯協会 ▶ Tel 62・6383

お手数ですが  
50円切手を  
お貼りください

8 9 9 5 4 9 2

始良市役所 秘書広報課  
市報あいら「読者プレゼント」係 行  
2013.7 no.80

ご住所

お名前 (掲載する際、実名は載せません。イニシャルで掲載します)

ペンネーム (ペンネームを希望する場合)

電話

年齢 才 性別 男 ・ 女

✕キリトリ線

応募のしかた

上のハガキを切り取ってご利用ください。官製ハガキも可。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。応募いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送以外には使用しません。寄せられた感想またはご意見を掲載する際、趣旨を変えない程度に添削することもあります。

事業所のみなさまへ

このコーナーでは、お店やお店の特産品などをPRされる事業所を募集します。

市内の企業振興として、お店や特産品などのPRの場としてこのコーナーを活用しませんか。

〔問合先〕 広報広聴係 Tel 66・3111 (内線 227)

※応募多数の場合は選定させていただきます。

[ヴューヴォイス]

View Voice



〔次の応募締切〕

8月1日 (木)

当日消印有効

読者の声 & プレゼント

市報あいらを読んだ感想や今後取り上げてほしい話題や記事、始良市への思い、あなたの身近な出来事などを送ってください。お便りをくださった方の中から、抽選で市内事業所からご提供いただいた特産品などをプレゼントします。たくさんのお便りお待ちしております。

◆先月号の特集「協育」はとてもよいと思いました！商工会と地元の高校が一体となり、イベントを続けて知恵を出し合い発展していったらいい！(すずめの親/加治木飯屋町)

V 高校生のみなさんが地域に愛着をもってもらえる機会になっていると思います。その機会をつくる商店街のみなさんや学校の先生の熱意が素晴らしいです。

◆先月号の特集「協育」はとてもよいことだと思います。学校にだけ預けて、任せるだけでなく、市民全員の手でやっていくべきだと強く思います。未来ある人間育成「協育」に協力します。(M・Aさん/西餅田)

V 大変ありがたいお便りです。ともに「始良っ子」を育ててまいります。

◆市内のことがよく分かり毎月楽しみにしています。歴史好きの私には中世から

ん/加治木反土)

V 市には史跡や風光明媚な場所がたくさんありますので、それらを取り入れて、より一層読みたいと思っていただけの表紙と誌面づくりをこれからも心掛けていきます。

◆紙面の内容は一通り黙読してから必要事項はメモをして参考にしていきます。

Eッセイ等については、風情を感じ、必読して市報への愛着の

近世に至るまでの記録にとっても吸い寄せられます。

V 先月号の「島津義弘の足跡をたどる」の岩剣城ですが、現在登ることが可能か道順や行き方が分かればよかったです。ありがとうございました。(T・Mさん/蒲生北)

V 岩剣城は登頂できます。台敷に限りはありますが、岩剣社までは車で行くことができ、駐車可能です。見どころなど、詳しくは市文化財係(TEL 62・2111 内線210)までお問い合わせください。

◆始良町から大阪に来て早50年、早いものです。市報あいらを毎月送っていただき、始良をいろいろと知ることができ、ありがとうございます。

V 会社勤めも終わり、今は大阪で農業をして幸せな人生を送っています。

◆広い畑で野菜など、自分で食べる分は全部作っています。ですが、ふるさと始良町のこととは一日も忘れたことはありません。

一端になる感じがします。

V 市内各地域の自主活動などの有意義なところを取り上げれば、心ある住民は一層市報に関心を持つと思います。(Y・Nさん/加治木日木山)

V 地域の特色ある活動は、誌面に元気を与えてくれますので、随時ご紹介できるように工夫していきます。

◆始良市の中には歴史の古い地域がたくさんあると聞きます。

せん。(W・Sさん/東大阪市)

V 素敵な第2の人生を送られていますね。故郷への思い、伝わってきます。

◆毎月、市報を楽しみに待っています。今は夫婦二人きりです。市報の子どもたちが元気よく目をキラキラさせた写真などは見飽きません。また、市長のがんばる姿、笑顔の良さに今後の始良市を感じます。

V このようなきめ細かな情報提供をしてくださる市職員のみなさんにも感謝します。今後ともがんばってください。(敬天愛人を愛する女さん/加治木日木山)

V 子たちの笑顔には本当に癒されますね。職員一同、お言葉を励みにがんばります。

◆先月号のシリーズ「錦江湾に住む旬の生き物たち」を読んで昔、父とキス釣りに行ったことを思い出し、ミミズを針に付け

V 今月号の「ちよこつとチャレンジャー」でも紹介していますが、市の指定文化財は県下一豊富です。人のエピソードも交え、これからも市報でご紹介していきます。

◆白浜にある小さな神社や加治木にあるいろいろな神社の紹介もあってはと思います。

V また、加治木タカンバッチョの民芸品も作ってみてはどうでしょうか。(Y・Mさん)

V 加治木タカンバッチョ(加治木の竹皮で作られた農作業時などに被る笠)。初午祭で歌われる鈴かけ踊りの歌詞にも登場するほど有名ですね。

V ごく稀に、市内でも農繁期に被っている人を見かけます。手作りできる方がいらつしやれば教えてください。

られず、父に付けてもらい、釣れるとはずしてもらいました。

V 父は私に対して「一緒に釣りに連れて行くと手が掛かる」なんて言いながらも、「今日も一緒に行こうか」とよく誘ってくれたことを。(ウッチーさん/加治木飯屋町)

V 心がポツと、あったかくなる思い出話を聞くことができました。お父さまとの楽しい時間が目に浮かび、こちらも嬉しくなりました。

◆現役時代は仕事一途で、地域のことなど女房任せでしたが、今は地域行政が一番よりどころで市政に関心を持ち市報は隅から隅まで読んでいます。

V 表紙の題材は市にゆかりの深い遺跡や建物、風景などを一年シリーズで続けるのもどうでしょうか。読者作品を依頼するのも一計かと思えます。

V 「今月の始良人」は結構な企画で、産業基盤の農林漁業などの従事者もよいかと。(K・Iさん)

◆今年もツバメが来て、巣立ちのある日、異様な鳴き声が行ってみると、青大将がツバメを狙っています。棒で退治しました。よかった、間に合って。(マーちゃん/蒲生白男)

V 危機一髪な状態だったのでしよう。棒で退治とは、なんとも勇敢ですね。

V そのほか、今月は蒲生にある「掛橋坂」について、もつと取り上げてほしいというお便りを数通いただきました。

V 「掛橋坂」は、今月号のP10で少し紹介しています。現在、身近に訪れてもらうために坂周辺の景観を損なわないよう、坂の修復や駐車場の整備を進めています。始良の白銀坂、加治木の龍門司坂に続く、新たな地域資源として期待されています。「三坂」については、また、あらためて本誌で取り上げ、ご紹介いたします。

# シンガーソングライター あふれる街をつくりたい

② 兼業ミュージシャン・  
ギター講師 西 聖夜 さん



1982年、鹿児島市生まれ。趣味は読書。年間50冊ペースで読む。写真は、自宅前に延びる小道。自然の力を感じる場所として、気分転換に最適な散歩コース。青のタイダイ柄Tシャツはライブでもよく着用する“西スタイル”。写真家の妻と2児の4人家族。

**始良人を募っています**  
ピックアップアイランでは、市民のみなさんの地域への思い、夢、特技、趣味、スキル(能力)を紹介し、登場していただける方を募集中。自薦他薦問いません！  
市広報広聴係 ▶ Tel 66・3111

「4年前、初めて蒲生でライブをする機会があつて、そのときに武家屋敷群や石垣をみて、言葉に表せない魅力を感じた」と蒲生との出逢いを話す西さん。  
現在、蒲生町漆に家族で移住し3年目を迎えた。家の前には牛舎や田んぼ、野花や木々があふれ、築50年の自宅は新の風呂だ。  
「子どもを育てる環境として最高。自然の力が大きなところで、漆では自然の大きさを感じながら生活できる。あとは、人との関わり合いを身につけるようにできればいいと思う」。蒲生に移住当初、市街地に住んでいたころ、娘を可愛がってくださる近所の方から、漆に空き家があることを聞き、すぐに転居を決めたと話す。  
「蒲生や漆の地域性に惚れ込んで住み始めた。ちよつと漆に住みたいと考えていた時期だったので、このチャンスを逃したくないと思って、時間を置か

ず、情熱と勢いで即決した」と当時を振り返る。「初めて作詞作曲をしたのは13才。友達の影響を受け、12歳からギターを弾きはじめた。十代のころ、ギター一本とリュックを持って全国を巡り、各地の人と触れ合いながら音楽を学んだ」  
現在、会社に勤務しながら、年間約20回のライブ活動をこなし、ギター講師の肩書きもある。11名の生徒に基礎技術をはじめ、歌を書くことを教えている。今年4月には「ある晩の音楽会」と題した定期発表会を蒲生の和紙ギャラリーで開催。そこで自作した歌を披露した生徒もいる。「今日あつた出来事を気軽に弾き語る人がどんどん増え、シンガーソングライターがあふれるまちにしたい」と夢を語る。  
「今、蒲生には色んな表現者が集まっている。これは蒲生の人の力が強いから。情熱や人間力がほかのまちとは違う。この場所が持つその力が

よそから来た人と混じり合つて巧く機能している」と蒲生の魅力を分析する。  
「この地域で何かできるか、自分の役割を考えると、芸術を仕事としている人とこの地域をつなぐ橋渡し役になることができたらいい。魅力的な人が集まれば、魅力的なことが起きる。市内にアーティストと地域のイベントや作品づくりの接点になれたら楽しいと思う」  
最近、韓国語を習い始め、20年以上続く蒲生と韓国との交流を支えるきっかけにしたいと、行動派の二面も覗かせる。  
今年から自宅付近にある田んぼで、仲間家族3世帯と米作りにも取り組む。「秋の収穫が待ち遠しい」と、蒲生の自然をステージに、もうひとつのライブがはじまる。

今月のプレゼント 5名様 夏、食欲がないときでも サラサラっと。

極上の県内素材を贅沢に使用した  
五光の「カンパチお茶漬け」



桜島産カンパチ、県産金胡麻に知覧茶と、県内素材にこだわつたお茶漬けパック。作り手の安全・安心な質の追求は大手百貨店も注目されています。昨年は山形屋、今年伊勢丹、井筒屋のお中元カタログにも登場。鹿児島を代表するご当地ギフトとなっています。鹿児島空港のスカイショップで購入可。お土産としても喜ばれています。「桜島カンパチ加工センター五光」(加治木木田)から5パックをセットで5名様にプレゼント。

- ・H23 県新加工食品コンクール優秀賞 (県産米消費拡大部門)
- ・H24 あいらの新商品コンテスト優秀賞

提供：桜島カンパチ加工センター五光 Tel 63・2848

※読者プレゼントのご提供もお待ちしております。広報広聴係 Tel 66-3111 まで

ご協力ありがとうございました。

## 島津義弘の足跡をたどる

#02

### 愛馬 膝跪驛の墓

膝跪驛は、島津義弘が出陣したとされる52回の合戦のうち、20数回で騎乗された愛馬です。名前は、元亀3年(1572)、日向の伊東氏と戦った木崎原合戦で膝を折って義弘を助けたことから付けられたといわれています。この馬の出生地については、蒲生の青色野牧や加治木西別府の上嶽牧内など諸説がありますが、定かではありません。

膝跪驛は83歳の長寿を全うしたといわれていて、鍋倉の亀泉院墓地に葬られています。墓の右隣にある安永6年(1777)に建てられた石碑には、膝跪驛が名馬として語り継がれている由来が書かれています。さらに墓の後方には、膝跪驛を最後まで飼育した橋口対馬安重夫妻の墓があり、現在でも愛馬を見守っているようです。

毎年旧暦1月19日に行われる帖佐十九日馬踊りでは、膝跪驛の墓を馬の神様として最初に参拝しています。

